

感染症発生状況

令和5年7月12日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年7月3日（月）～7月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】597名 【職員】11名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】119名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（284名）、咳・鼻水（168名）、下痢・腹痛（50名）、嘔気・嘔吐（13名）、
充血（目やに）（13名）

疾病別：気管支炎・肺炎（46名）、ヘルパンギーナ（25名）、胃腸炎（17名）、
溶連菌感染症（4名）

【職員】症状別：咳・鼻水（12名）、熱（7名）、下痢・腹痛（1名）

疾患別：なし

**ヘルパンギーナ流行が拡大、手足口病が散見され夏風邪流行期になっています。
さらに、RSウイルス感染などの咳、鼻水などの気道感染症も流行しています。
皆様ご注意ください。**

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎	玉山地区、厨川地区、河北地区で増加しました。 盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。
ヘルパンギーナ	厨川地区、河北地区、都南地区で増加しました。 玉山地区、盛南地区、河南地区で減少しました。
胃腸炎	都南地区で増加しました。厨川地区、河北地区、河南地区で減少しました。
溶連菌感染症	玉山地区、盛南地区、都南地区で減少しました。

【県の状況（6/26～7/2）】

ヘルパンギーナは7週連続で増加し、県内の定点あたり患者数は警報値の6人を超え過去最高の9.43人となりました。地区別では奥州地区の24人を筆頭に、県央、中部、大船渡地区で警報値を超えました。本症は乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患で、発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とします。口内の発疹により水分を摂取しにくくなるので脱水に注意が必要です。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを励行することが重要です。

RSウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は2.28人となりました。本症は、発熱、鼻汁、咳といった風邪症状を呈しますが、乳幼児を中心に重症化することがあり注意が必要です。予防には手洗い、咳エチケットが重要です。

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は6.27人となりました。県内でのクラスターの発生は8件でした。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認を行いましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】